

学校教育目標「考える子・たくましい子・思いやる子」



# ぎんなんだより

横須賀市立公郷小学校 令和5(2023)年3月13日 No.13

校長 増田 喜明



## ことばをみがき ころをみがく

### 「 終わり良くして全て良し 」 一年間の成果を感じて

「ピーク・エンド効果」これはある出来事の印象というものは、ピーク(途中の最も目立った瞬間)とエンディング(終末)の二つの振れ幅によって、強くところに焼き付けられるというものです。

例えば、車で遠方にドライブに出かけたときの印象は、次のような状況だとどうなるでしょうか。

ある目的地までの運転で、距離も時間も同じようにかかったとします。まず、ある日の出来事。この日は走行開始とともに大渋滞にはまり、大変窮屈な時間を過ごします。ようやく目的地が近づいたところで、やっと渋滞が解消され、そのあとは一路目的地に快適に到着しました。

次に、別の日の出来事。前半は、全くのストレスなく実に快適に走行しました。しかし、最後の最後に大渋滞にはまってしまい、やっとの思いで目的地に到着しました。さて、私達の感じるイメージはどうでしょうか。時間のロスなどの損得は、運転全体として同じだとしても、ここに残る「印象」は異なるでしょう。きっと“辛い”と思った時間を乗り越えた後の“快適さ”の方が、「良いドライブだった」と思い出に残るのではないのでしょうか。同じように、評判のレストランで長い行列を待って、やっとありつけた料理の味。このピークとエンドで印象が決定づけられる。もし、長い待ち時間と美味しくない料理だとしたら、もう間違いなく、二度と行くものかとなりますね。これが、ピークの時と、エンドの時によって、出来事の印象が大きく決定づけられるという心理学の理論です。

そこで、このことばも思い浮かびます。「終わり良ければ全て良し」狭義の意味では、途中の過程は関係なく、最後さえ良ければ構わないという結果論になるかもしれません。そのニュアンスで言えば、このことばは学校教育にはあまり適しません。しかし少しことばのニュアンスを変えればどうでしょうか。終わりを良くすれば、その過程が意味のある良いものとして価値づけられるという捉えもできます。そこで、こう言い換えてみたいのです。「終わりを良くして全てを良くする」そのために、子ども達にもこの一年間を振り返るために、ピークとエンドが意識づけられる投げかけを添えてみてはいかがでしょうか。子どもの自尊感情を高めるよう、うまくいった例をあげて、そこに至る苦労や経験を振り返ってみるのです。こんなエンドは、あのピークがあったから。

「今の自分があるのは、大変な練習を乗り越えたから。」

「4月と比べて、いろんなことができるようになった。それは失敗を経験したから。」

さて、6年生の皆さんのピーク・エンドは何でしょうか。「この公郷小を立派に卒業できるのは、それは、どのような時でも、いつも優しく見守ってくれた家族のおかげだから。」このような子ども達の声が聞こえてくると嬉しいです。

さて、私からも、一年間学校教育にたくさんの成果が生まれました。皆さまの温かい支援のお陰です。本当にありがとうございました。



## 笑顔いっぱい 3月の公郷の子ども達の様子から

### 自然いっぱい ～ 4年生自然ツアー ～

4年生が総合的な学習の時間で取り組んだ、公郷小の自然を考える学習。その取り組みで、校内にたくさんの種類の植物が育っていることを発見しました。そのまとめとして、樹木の名前を紹介する素敵なネームプレートの札を取り付けました。

太い幹には、かわいらしい字体で「ざくろ」「さるすべり」などの表示が付けられています。さらに、他の学年の子ども達のために学校内を案内するツアーも実践しました。小さい旗を掲げてみんなを案内するガイドさんに変身した4年生でした。



みどり豊かな公郷小めぐり

### 卒業おめでとう ～ たんぼぼ卒業式・6年生を送る会 ～

いつも公郷小のみんなのお手本となりながら頑張ってきた6年生の子ども達。感謝の気持ちを伝えようと在校生のみんなは歌やメッセージを映像にまとめました。6年生からは、合唱「旅立ちの日に」を披露します。さらに、公郷小の思い出の教室や場所を紹介する楽しいビデオを作成しました。テレビ画面を通しての集会ですが、思いがひろがる集会となるでしょう。

また、8日(水)には一足先に、「たんぼぼ卒業式」を開きました。これは、たんぼぼ級の1年生から6年生までのお別れ会を兼ねたお祝いの式でした。一人一人にたんぼぼ級オリジナルの卒業証書を授与しました。立派な晴れ姿を見せてくれた感動の式でした。早咲きの桜もお祝いをしてくれました。



おめでとう たんぼぼ級の6年生

### 学校ガイダンス ～ 公郷中学校生徒会 ～

卒業を前に、進学する公郷中学校の生徒会の皆さんが、6年生に素敵なプレゼンテーションを行ってくれました。小学校と中学校の授業や生活の違いをととても分かりやすく話してくれました。小学校にはない、テスト期間があることや、守るべき校則があることもよく分かりました。興味が湧いたのは、やはり中学校から体験できる「部活」のことでした。憧れの中学校生活。4月からの新生活への夢と期待がより一層膨らみました。



### 立つ鳥跡を濁さず ～大掃除～

3月は感謝の月。お世話になった先生、仲良く助け合ったお友達にありがとうの気持ちを伝えます。そこにはもちろん一年間過ごした教室も含まれます。そこで、こころを込めて、机やロッカーもきれいに片づけていきます。

次に使う子ども達のことを思いやる、優しいこころも磨いていけることでしょう。

#### 令和5年 新年度 4月最初の予定

4月 6日(木) 新6年生前日準備の登校

7日(金) 始業式・着任式・入学式

12日(水) 給食開始・4時間授業

